



週間情報



No.0731

発行日 令和7年8月19日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 全国消防長会常任理事会を開催

～ 全国消防長会会長に、市川^{いちかわ} 博三^{ひろみ} 氏（東京消防庁消防総監）を選任 ～

全国消防長会

全国消防長会常任理事会（書面会議）（令和7年7月16日付全消発第96号）を開催しました。

去る7月15日付けで吉田義実会長が退任されたことから、常任理事会において、本会規約に基づき会長の補欠選任について審議され、8月6日付けで新会長に市川博三東京消防庁消防総監が選任されました。

なお、常任理事会における審議事項については次のとおりです。

【審議事項】

- 1 全国消防長会会長の補欠選任について
- 2 顧問の委嘱について

◆ 一般財団法人全国消防協会臨時理事会を開催

～ 一般財団法人全国消防協会会長に、市川^{いちかわ} 博三^{ひろみ} 氏（東京消防庁消防総監）を選定 ～
一般財団法人全国消防協会

令和7年8月6日（水）、一般財団法人全国消防協会臨時理事会をWeb開催しました。

去る7月15日付けで吉田義実会長が退任されたことから、臨時理事会において、本協会定款に基づき会長の選定について審議され、8月6日付けで新会長に市川博三東京消防庁消防総監が選定されました。

なお、理事会における審議事項等については次のとおりです。

【審議事項】

会長の選定について



【臨時理事会の様子】



【市川会長就任あいさつ】

訓 練

◆ 消防団と「合同水難救助訓練」を実施

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部（岩手）

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部では、令和7年7月27日（日）、奥州市消防団と「合同水難救助訓練」を実施しました。

この訓練は、消防団との情報の共有化、円滑な連携、適正な救助活動を行うことで、実災害への対応能力の向上を図ることを目的として実施したもので、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、合同訓練は7年ぶりの開催となりました。

当日は、消防団水難救助隊と当消防本部水難救助部隊がドローン隊と連携し、搜索活動を行った後、各救助隊が救出訓練を実施しました。

今後も、消防団との連携強化を図るとともに、迅速な救助体制の構築に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の建物を活用した実践的な警防活動訓練を実施

高山市消防本部（岐阜）

高山市消防本部では、令和7年7月16日（水）、23日（水）、24日（木）、28日（月）の4日間、管内の事業所にご協力いただき、解体予定の建物を活用した実践的な警防活動訓練を実施しました。

この訓練は、建物の破壊活動に必要な知識・技術を習得するとともに、現場対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、実際の建物でシャッター切断訓練とドアの開放訓練を行ったほか、「倉庫および事務所棟で火災が発生した。」との想定で、各隊と連携した屋内進入と要救助者の検索・救出活動を行い、基本的な活動手段や安全管理について再確認することができました。

今後も、解体予定の建物を活用した実践的な訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 消防職員研修（消防ロープレスキューについて）を実施

福知山市消防本部（京都）

福知山市消防本部では、令和7年7月31日（木）、8月1日（金）の2日間、福知山市消防防災センターにおいて、京都府中北部地域の5消防本部（舞鶴市消防本部、綾部市消防本部、宮津与謝消防組合消防本部、京丹後市消防本部、京都中部広域消防組合消防本部）と合同で、消防職員研修（消防ロープレスキューについて）を実施しました。

当日は、日本の消防ロープレスキューの先駆者である総社市消防本部の林田章宏氏を講師としてお招きし、講義と技術指導をいただき、国際水準の救助技術を習得することができ、消防ロープレスキューの標準化につながる貴重な研修となりました。



【研修の様子】

研 修

◆ 「分娩介助研修会」を開催

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和7年7月31日（木）、大垣徳洲会病院において、救急隊員を対象とした、「分娩介助研修会」を開催しました。

この研修会は、救急現場で遭遇する頻度が少ない分娩介助に対する不安を払拭するとともに、現場で適切な観察・処置と愛護的で安心感を与える活動に資することを目的として実施したものです。

当日は、大垣徳洲会病院の助産師を講師として依頼し、分娩介助における観察・手技と新生児の評価・処置などのポイントについて、ご指導いただきました。

今後も、さまざまな訓練を実施し、救急活動能力の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 県消防学校専科教育警防科第23期派遣職員による伝達講習会を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和7年8月1日（金）、県消防学校専科教育警防科第23期派遣職員による伝達講習会を実施しました。

当日は、「最先着隊の活動要領」との内容で、最先着小隊長の判断や活動が火災の被害を左右することを念頭に、隊員が身につけなくてはならない火災性状の理解、放水要領の基礎的な知識、小隊長が身に着けるべき情報収集内容について講義しました。

また、「指揮板の書き方」との内容で、指揮シミュレーション訓練を行い、指揮隊が記載すべき情報と収集すべき情報について、イメージを持つことができ、有意義な講習会となりました。



【講習会の様子】

そ の 他

◆ 消防協力者に消防長から感謝状を贈呈

富岡甘楽広域消防本部（群馬）

富岡甘楽広域消防本部では、令和7年8月1日（金）、消防協力者の5人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年5月25日（日）に発生した救急事案において、テニスの大会中に心肺停止となった60代男性に対して、現場に居合わせた消防協力者5人が協力し、119番通報、心肺蘇生、AEDを活用した除細動を迅速に行い、救急隊に引き継いだものです。

男性は、消防協力者5人の勇敢な行動により、電気ショックから約1分後に意識が回復し、救急隊に引き継いだ後、ドクターヘリで医療機関へ搬送され、入院治療後に社会復帰されました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防功労者に消防長から感謝状を贈呈

西置賜行政組合消防本部（山形）

西置賜行政組合消防本部は、令和7年8月4日（月）、3事案の消防功労者の9人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

1事案目と2事案目は、同年4月10日（木）、27日（日）に白鷹町で発生した火災に、付近にいた消防協力者の5人（10日2人、27日3人）が早期に発見し、消火栓や残雪などを活用して迅速な初期消火活動を行い、被害の拡大防止に貢献したものです。

3事案目は、同年4月14日（月）に飯豊町で発生した救急事案において、寒冷下で倒れていた傷病者に対して、消防協力者の4人が連携して救護を行い、容体の安定に貢献したものです。

消防協力者9人の地域に対する高い安全意識と行動力に、心より感謝申し上げます。



【贈呈後の記念撮影】

◆ 消防功労者に消防長から感謝状を贈呈

宮津与謝消防組合消防本部（京都）

宮津与謝消防組合消防本部では、令和7年8月6日（水）、消防功労者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年7月9日（水）、管内で発生したその他火災において、付近で勤務していた消防功労者の2人が連携し、水バケツを準備して駆け付け、迅速な初期消火活動を行ったものです。

消防功労者2人の勇気ある行動と迅速かつ適切な判断により、延焼防止と被害の軽減に大いに貢献しました。



【贈呈式後の記念撮影】

◆ 安全推進本部教養「原因究明及び再発防止対策」を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁では、令和7年6月24日（火）から令和7年7月24日（木）までの期間中、消防署および方面本部を対象に、安全推進本部教養「原因究明及び再発防止対策」を実施しました。

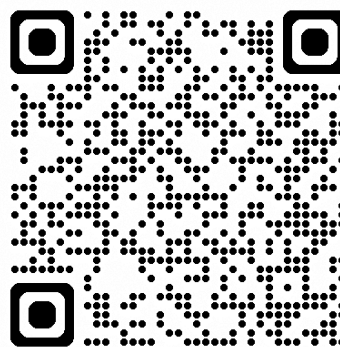
期間中は、安全推進部安全技術課で開発した「事故分析補助ツール」の効果的な活用方法などについて、オンラインによる体験型の講義を実施しました。

有効な再発防止対策の構築は、将来起こりうる事故の未然防止に直結し、安全文化の定着にもつながるため、今後も、各種教養や職務に起因する事故の分析を継続し、安全文化の醸成に努めてまいります。

なお、本教養の事故分析補助ツールなどについて解説した、東京消防庁安全推進部が監修する「消防職員のための事故の調査分析ハンドブック」がありますので、ご購入のうえ、お読みいただければ幸いです。



【オンライン教養の様子】



【書籍の紹介 二次元コード】

◆ 「サマーナイトフェスティバル」で火災予防広報を実施

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和7年8月2日（土）、東筑摩郡麻績村で開催された「サマーナイトフェスティバル」において、地域住民の方々を対象に、火災予防広報を実施しました。

この取り組みは、来場者に消防への理解を深めていただくとともに、火災予防意識を高めることを目的として実施したものです。

当日は、オリジナルキャラクターの怪人「カジダー」と麻績村PRキャラクター「おみぼん」が初の共演を果たし、消防マンガなどを活用した広報活動と支援車Ⅰ型の見学を実施したほか、放水体験を行い、体験した子どもたちが、「小さな消防士」となってカジダーに立ち向かう姿を見ることができました。

今後も、消防活動への理解を促し、火災予防啓発を通じて地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【カジダーとおみぼん】



【消防マンガの展示】

◆ 「石狩防災フェスタ2025」で広報活動を実施

石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

石狩北部地区消防事務組合消防本部では、令和7年8月3日（日）、石狩市役所特設会場で開催された「石狩防災フェスタ2025」において、広報活動を実施しました。

当日は、天候にも恵まれ、3,500人を超える皆さまにご来場いただき、当消防本部石狩消防署と石狩消防団が合同で、消防団車両・高規格救急車・大型高所放水車の展示や搭乗体験、火災を再現した初期消火体験、40mmホースを用いた放水体験、心肺蘇生法体験、煙発生装置を活用した煙道体験、各種消防キャラクターとの記念撮影、子供用防火衣を着装しミニ消防車に搭乗する記念撮影のコーナーを設けました。

また、防火啓発や救急車の適正利用に係るチラシ、消防団入団促進のパンフレットを配布し、多くの方々に消防活動をPRするとともに、防火・防災への意識の向上を図ることができました。



【放水体験の様子】



【搭乗体験の様子】

◆ 外国人技能実習生を対象とした防火・救命講習会を実施

北見地区消防組合消防本部（北海道）

北見地区消防組合消防本部では、令和7年8月3日（日）、外国人技能実習生を対象とした防火・救命講習会を実施しました。

当日は、日本語が通じない環境の中、水消火器を活用した消火訓練、119番通報訓練、一次救命措置訓練を実施し、火災などの緊急時における正しい初動対応を、ユーモアのある言葉と身振り手振りを交えながら、的確に必要な情報を伝えることができ、防災意識の向上を図ることができました。

近年、全国的に外国人技能実習生が増加傾向にあり、北海道内においても多くの方が就労していることから、今後も、この経験を活かし、災害現場などでの外国人対応を含め、消防組織力のさらなる向上に努めてまいります。



【講習会の様子】

消防学校からの便り

◆ 和歌山県消防学校オープンキャンパスを開催

和歌山県消防学校（和歌山）

和歌山県消防学校では、令和7年7月23日（水）、消防官を目指している方や消防の仕事に興味のある方を対象に、和歌山県消防学校オープンキャンパスを開催しました。

この取り組みは、消防の魅力を発信するとともに、県内消防本部の人材を確保することを目的として、現在入校中の初任教育生58人が大部分を企画し実施したもので、昨年に引き続き今回で2回目となります。

当日は、県内外から総勢65人が参加していただき、初任教育生が入校してから約4か月間で培った訓練成果を披露したほか、消防体験コーナーや質問コーナーを設けました。

また、県内6つの消防本部が所属のPRや現任消防士による各種訓練を披露し、和歌山県がひとつになって参加者の皆さまにさまざまな角度から消防に触れていただき、かけがえのない時間となりました。



【初任教育生による消防体験コーナーの様子】



【現任消防士による訓練披露の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について（依頼）

（消防救第267号、厚生労働省発医政0804第1号、令和7年8月4日）

消防庁長官、厚生労働省事務次官から各都道府県知事あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記については、かねてより種々御尽力をいただいているところですが、本年度も「救急の日」を含む一週間を「救急医療週間」として、別添実施要綱に基づき、救急医療の普及、啓発活動を全国的に実施することとしましたので、格段のご協力をお願いします。（別添省略）

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/kyuuki_250804.pdf）に掲載されています。

（連絡先）消防庁 救急企画室 救急連携係
担当：竹田課長補佐、松田係長、三宅事務官
Tel: 03-5253-7529
Mail: kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

報道発表

◆ 危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募

（令和 7 年 8 月 7 日、消防庁）

消防庁は、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）等について、令和 7 年 8 月 8 日（金）から令和 7 年 9 月 8 日（月）までの間、意見を公募します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/a4630e8d36b9e39826af50ab340e84d1d7552d9a.pdf>）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁予防課危険物保安室 石野補佐、鈴木

TEL 03-5253-7524（直通）

E-mail : fdma.hoanshitsu_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0 7 1 6）1 ページ、機関誌「ほのお」2 0 2 5 年 4 号（4 / 2 5 発刊）2 9 ページを参照願います。

TEL : 03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Word で 1 0 0 文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Word に貼り付けず、JPEG 画像データを 1 枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL : 03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が 5 MB を超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。